



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準) (非連結)

2025年8月8日

上場会社名 横浜魚類株式会社

上場取引所 東

コード番号 7443 URL <https://www.yokohamagyorui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 英俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 塚本 秋宏

TEL 045-459-3800

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,849	6.3	57	57.4	74	43.6	43	9.6
2025年3月期第1四半期	4,564	6.1	36	35.4	52	23.7	40	13.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	7.02	—
2025年3月期第1四半期	6.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,467	2,538	46.4
2025年3月期	5,408	2,515	46.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 2,538百万円 2025年3月期 2,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	0.5	180	14.6	200	9.9	150	17.2	23.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	6,290,000 株	2025年3月期	6,290,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期1Q	32,649 株	2025年3月期	32,649 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	6,257,351 株	2025年3月期1Q	6,257,351 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の我が国経済は、物価と金利の上昇によるデフレ経済からの脱却により企業業績の向上とそれに伴う昇給などの労働環境の改善などにより、景気は緩やかな拡大基調にあります。しかしながら米国の通商政策による国内景気の悪化が懸念されております。

水産物流通業界におきましては、地球温暖化などの自然環境の変化による漁獲減少などによる魚価の上昇や人件費、物流費など諸経費の増加によるコスト増が続いております。

この様な状況におきまして、当社は顧客ニーズに合った商品の販売に注力するなど積極的な営業活動の結果、売上高は4,849百万円(前年同期比6.3%増)と増収になりました。

損益につきましては、売上高増加による売上総利益の増加などに伴い、営業利益57百万円(前年同期比57.4%増)、経常利益74百万円(前年同期比43.6%増)、四半期純利益43百万円(前年同期比9.6%増)と増益になりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

(水産物卸売業)

積極的な営業活動をしたことなどにより、売上高は4,806百万円(前年同期比6.3%増)と増収になりました。

営業損益は売上高増加に伴う売上総利益の増加はありましたが、物流費や人件費などの経費増加があったことなどにより、営業利益55百万円(前年同期比2.2%減)と減益になりました。

(不動産等賃貸業)

売上高は43百万円(前期と同額)となり、営業利益は修繕費の減少などにより8百万円(前年同期比29.4%増)と増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期会計期間末における総資産合計は、5,467百万円(前期末比59百万円増)となりました。これは受取手形及び売掛金が47百万円減少しましたが、現金及び預金が106百万円、商品が27百万円増加したことなどにより流動資産が86百万円増加したこと、並びに繰延税金資産が20百万円減少したことなどにより固定資産が26百万円減少したことによるものであります。

②負債

当第1四半期会計期間末における負債合計は、2,929百万円(前期末比36百万円増)となりました。これは未払法人税等が32百万円、長期借入金が39百万円減少しましたが、買掛金が77百万円、その他流動負債が51百万円増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、2,538百万円(前期末比22百万円増)となりました。これは利益剰余金が6百万円、その他有価証券評価差額金が16百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日の2025年3月期決算短信に開示しました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,894	700,440
受取手形及び売掛金	2,062,452	2,014,635
商品	734,032	761,468
前払費用	6,090	10,189
その他	18,350	12,017
貸倒引当金	△299,232	△296,916
流動資産合計	3,115,588	3,201,835
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,002,376	977,072
その他（純額）	386,581	378,785
有形固定資産合計	1,388,958	1,355,857
無形固定資産	3,406	2,939
投資その他の資産		
投資有価証券	748,313	775,088
関係会社株式	35,645	35,645
破産更生債権等	124,315	122,964
繰延税金資産	47,030	26,525
その他	68,959	67,501
貸倒引当金	△123,806	△120,531
投資その他の資産合計	900,456	907,195
固定資産合計	2,292,822	2,265,992
資産合計	5,408,410	5,467,827

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	126,603	115,609
買掛金	1,440,388	1,518,155
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	159,600	159,600
未払法人税等	53,073	20,106
賞与引当金	19,827	2,610
その他	200,399	252,086
流動負債合計	2,099,893	2,168,168
固定負債		
長期借入金	241,400	201,500
退職給付引当金	320,904	327,984
役員退職慰労引当金	5,625	5,625
資産除去債務	64,704	64,786
長期預り保証金	159,927	161,427
その他	316	275
固定負債合計	792,878	761,598
負債合計	2,892,772	2,929,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,100	829,100
資本剰余金	648,925	648,925
利益剰余金	821,585	827,950
自己株式	△12,653	△12,653
株主資本合計	2,286,956	2,293,322
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	228,682	244,738
評価・換算差額等合計	228,682	244,738
純資産合計	2,515,638	2,538,060
負債純資産合計	5,408,410	5,467,827

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,564,295	4,849,897
売上原価	4,140,347	4,406,341
売上総利益	423,948	443,556
販売費及び一般管理費	387,434	386,086
営業利益	36,513	57,469
営業外収益		
受取利息	105	248
受取配当金	16,399	17,736
雑収入	81	84
営業外収益合計	16,586	18,068
営業外費用		
支払利息	961	707
雑損失	40	44
営業外費用合計	1,002	751
経常利益	52,097	74,787
税引前四半期純利益	52,097	74,787
法人税、住民税及び事業税	4,251	17,314
法人税等調整額	7,793	13,563
法人税等合計	12,045	30,877
四半期純利益	40,052	43,909

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	34,508千円	35,891千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,520,536	43,758	4,564,295	—	4,564,295
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,520,536	43,758	4,564,295	—	4,564,295
セグメント利益	56,883	6,360	63,243	△26,729	36,513

(注) 1. セグメント利益の調整額△26,729千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,806,139	43,758	4,849,897	—	4,849,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,806,139	43,758	4,849,897	—	4,849,897
セグメント利益	55,638	8,233	63,871	△6,402	57,469

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,402千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。